



## 見どころ！ここがポイント！

国内有数の風力発電の適地である秋田県。秋田港・能代港では、2023年1月から日本初の大型商用洋上風力発電所が全面運転を開始しています。

秋田市のAOW風みらい館で、①洋上風力発電の必要性、②県内企業の関わり等のプロジェクト概要、③ブレード直径117m・高さ150mの大型風車をどう海洋に設置したのか？発電した電気がどのように陸上に送られているのか等を、事業会社の方からお聞きし、洋上風力発電事業全体の理解を深め、次世代のエネルギーについて考えるプログラムです。

### プログラムの内容

- AOW風みらい館で、日本初の大型商用洋上風力事業の概要説明と質疑応答
  - ①地球温暖化、再生エネルギーやその必要性について
  - ②本事業の規模や地元企業の関わりについて
  - ③洋上風車をどう設置し、発電した電気をどう送っているかについて（基地港湾整備、SEP船（自己昇降式作業船）、海底ケーブル等）
- 洋上風車とほぼ同じ高さのポートタワーセリオン（143m）から見渡す、秋田港の洋上風車、日本海、男鹿半島、烏海山の360度パノラマ。



AOW風みらい館



SEP船（自己昇降式作業船）  
作業の様子



洋上風車とほぼ同じ高さの  
ポートタワーセリオン（143m）



秋田港の洋上風車  
（飯島サンセットパークから）

#### 事前学習

- エネルギー問題や発電と環境問題について調べてみよう。
- 家庭でどのくらい電気を使っているか調べてみよう。
- 現状の日本の電源構成と将来の日本の電源構成について、調べてみよう。
- 洋上風力発電に関するYoutube動画の提供。

#### 現地学習

- AOW風みらい館 概要説明・質疑応答（30分）
- 移動（徒歩5分）
- ポートタワー・セリオンから洋上風力風車の見学（20分）  
飯島サンセットパーク（バス移動10分）から洋上風力風車の見学と記念撮影（20分）もおすすめです。

#### 事後学習

- 2050年カーボンニュートラルに向けて、自分たちにできることをグループで話し合い発表してみよう。

受入人数 30 名

受入可能時期（休業日） 平日（年末年始を除く）  
希望日の3ヶ月前～2週間前までの受付

受入可能時間 10:00～16:00

体験時間 1時間～1時間30分

対象 小学生・中学生・高校生

1人/1回  
当たり料金 学生団体料金（1団体当たりの料金）  
・1～10名 7,500円  
・11～20名 15,000円 ・21～30名 22,500円

備考（雨天対応等）  
・現場で緊急事態が発生した場合や、台風・豪雨等の自然災害が発生した場合は中止となります。

#### 問い合わせ

企業/施設名称：秋田洋上風力発電株式会社  
問い合わせ先：以下URLのフォームよりお問い合わせください。  
<https://www.shisaly.com/recipients/225>





## 見どころ！ここがポイント！

食料自給率38%(\*)の日本において、農業分野における高齢化による担い手不足・熟練技術の伝承は喫緊の課題です。(※令和5年度 カロリーベース)

秋田県立大学アグリイノベーションセンター(以下 AIC)では、スマート農業の普及を切り口にした上記課題解決による農業振興と、製造業・情報通信業など関連産業振興による秋田県の持続可能な発展に貢献することを目指しています。

大学で行われている最先端のスマート農業の研究に触れて体験することができるだけでなく、キャリア学習や進路選択などにも参考になるプログラムです。

## プログラムの内容

●講義室での国内農業の現状やAIC概要の説明後、マイクロバスに乗り、大学付属農場として全国一かつ大学総面積の大半164haを占める広大な圃場(水田・畑など)を車窓から体感します。

●稲作・畑作・野菜・果樹園芸・畜産部門を擁するAICですが、大学で行われている最先端の研究から、本プログラムでは以下の3つの取り組みを体験できます。

- ①牛舎…AIで牛の発情期を検知し効率的な繁殖に向けた取り組み。
- ②トマトハウス…ICTの活用で寒冷地秋田でトマトの通年生産を目指す取り組み。
- ③スマート農業機器…ロボットトラクター、農業用ドローン等の活用による省力化の取り組み。デモ機を活用したドローンの操縦体験。

国内有数190haの総面積  
(バスで圃場を巡ります)

牛舎



トマトハウス

スマート農業機器  
(自動で農薬を散布するドローン)

## 事前学習

- 自分が住んでいる地域の農業の現状や課題について調べてみよう。
- 日本の食料自給率を品目ごとに調べてみよう。  
(施設で対応できること)
- AIC作成の動画の提供

## 現地学習

- 日本の農業の現状やAICの概要説明(50分)
- バスで圃場を移動しながら圃場の広さを実感(10分)
- 牛舎の見学(20分)・トマトハウスの見学(20分)
- スマート農業機器の説明・見学(20分)  
+ドローン操縦体験(所要時間は人数による)

## 事後学習

- IoTを活用し、農業に還元できるような新しいアイデアをグループで話し合ってみよう。

受入人数

～20(20名以上は要相談)

名

対象

小学生・中学生・高校生

受入可能時期  
(休業日)平日(土日祝・年末年始・お盆は休業)  
\*実施日時は要相談1人/1回  
当たり料金

無料

受入可能時間

9:00～17:00

備考  
(雨天対応等)

荒天時、ドローン体験は動画での説明となります。雨天時は、バスでの圃場車窓見学が出来ない場合があります。

体験時間

2時間30分～3時間程度

## 問い合わせ

企業/施設名称: 秋田県立大学アグリイノベーション教育研究センター

担当名: aic-official (QRコードからお問い合わせください)

E-mail: aic-official@akita-pu.ac.jp

営業時間: 9:00～17:00

休館日: 土日祝・年末年始・お盆

